

福祉サービス第三者評価結果の公表ガイドライン

① 第三者評価機関情報

第三者評価機関名：特定非営利法人未来 福祉サービス評価事業部

訪問調査実施期間：平成19年3月13日（火）

② 事業者情報

名称：倉吉市立倉吉西保育園

種別：保育所

代表者氏名：宍戸敬子

定員（利用人数）：60（56）名

所在地：鳥取県倉吉市余戸谷町2970-1

TEL 0858-22-2687

③ 総 評

◇特に評価の高い点

1. 園長はリーダーシップをよく発揮し、また職員とのコミュニケーションもよくとれ、相談しやすい職場環境である。
2. 理念・保育方針・運営方針・年間目標が年間月間週間の生活援助計画と連動し、評価見直しを行っている。
3. 地域住民や小中学校、行政などの組織との連携がよく、高齢者を含めた地域との交流がある。
4. 園児も職員も明るく、気軽に相談できる関係が出来ていて、保護者からの信頼が厚い。
5. 古くなった本に手を加えて大切に使っているなど、物を大切にする姿勢が園全体に見受けられる。
6. 園舎は、狭い中にも発達に応じたスペースの工夫や安全対策が出来ている。

◇改善を求められる点

1. 保育の記録が丁寧に記録されているが、保護者への連絡ノートや管理的な日誌などもあわせ、記録に時間を要している現状がある。記録の見直しを含め、さらなる業務改善を期待する。
2. 狭いスペースでの園生活の中、自然環境や地域も含め、より広がりのある活動を工夫してほしい。
3. 公立保育園であるが、非常勤職員の比率が高く、労働条件や研修参加率など、仕事に対する士気を維持できるような配慮が行政側とともに検討が必要であろう。

④ 第三者評価結果に対する事業者のコメント

評価を受けたことで、違う視点で保育を考えることが出来、改めて考えていかなければならない課題が見えてきました。また、職員1人ひとりが個人の努力目標を出し合い、それを全員で評価しあう体制作りが職員の共通理解の下に出来たことは、1人ひとりの力量の高まりにつながっていくものと思います。今後も、広い視野をもち保育に取り組んでいきたいと思っています。

⑤ 各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙のとおり

福祉サービス第三者評価結果 (付加基準—保育所版—)

※すべての評価項目（34項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示します。

A-1 子どもの発達援助

評価項目	第三者評価結果	
A-1-(1) 発達援助の基本		
A-1-(1)-① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	(a)・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・保育計画は、保育指針や児童憲章などの趣旨に基づき、また保護者や地域ぐるみの交流の中で意向を聞き、作成されている。 ・指導計画は、担当者を中心に週単位の、全体では月単位の評価し、次の計画に反映している。
A-1-(1)-② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	(a)・b・c	
A-1-(2) 健康管理・食事		
A-1-(2)-① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	(a)・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園としての健康マニュアルがあり、それに基づき結果の記録や伝達をしている。 ・健康診断や歯科検診を定期的実施し、保護者や職員にも伝達しているが、すべての家庭には反映していない。 ・各年齢に応じた部屋で、保育士とともに落ち着いて、また楽しそうに会話し、おいしく食べられるよう配慮している。また子どもが配膳や後片付けに参加できるよう配慮している。 ・毎月19日に「食育の日だより」、毎月「給食だより」を発行し、保護者へ食育の大切さを啓発している。
A-1-(2)-② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	(a)・b・c	
A-1-(2)-③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a・(b)・c	
A-1-(2)-④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	(a)・b・c	
A-1-(2)-⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている。	(a)・b・c	
A-1-(2)-⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	(a)・b・c	
A-1-(2)-⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	(a)・b・c	
A-1-(2)-⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	(a)・-・c	

A-1-(3) 保育環境		
A-1-(3)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	(a)・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・建物は24年以上経過しているが、採光・通風・換気に配慮し、掃除が行き届いている。園庭の遊具の配置（ブランコの支柱の位置の見直し）による怪我の防止など、生活の場として安全への工夫をしている。 ・狭い園庭・園舎を補うよう、自然環境や地域とのかかわりなど、より広がりのある活動をさらに考えてみてはどうか。
A-1-(3)-② 生活の場に相應しい環境とする取り組みを行っている。	a・(b)・c	
1-(4) 保育内容		
A-1-(4)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	(a)・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにわかりやすい温かな言葉使いで穏やかに接している。 ・トイレに行くことをせかしたりせず、また休憩時間にも一人ひとりのリズムに合わせるようにしている。 ・発達に応じた遊具や玩具があり、自分で取り出しやすいよう整理しているが、一層の工夫を望む。 ・園庭にチャボを飼育するなど動植物に触れる機会を作っている。 ・散歩したり、地域の人たちと触れ合う機会を作っている。 ・歌ったり踊ったり、身体を使ったさまざまな表現遊びを取り入れているが、更に自発性を伸ばす工夫が望まれる。 ・月一回地域ボランティア「つくしんぼの会」による読み聞かせの時間があり、子どもたちは楽しみにしている。 ・順番を守ることや、当番活動などの役割を果たせるような取り組み、異年齢との交流が行われている。 ・子どもの権利擁護に関する研修に職員は参加しており、子どもの人権への配慮や、自分の意見が大人たちにもはっきり言えるよう配慮している。また、保護者にも理解を求めている。 ・乳児がゆっくり休息しやすいよう、ベッドの配置に工夫が見られる。またスキンシップや外気に触れるなどの機会を作っているが、充分ではない。 ・在園児56人中半数以上が延長保育を受け、異年齢の子ども同士で遊べるよう配慮されている。しかし保育にかかわる職員がゆったりと関わっていない現状がある。 ・障害児保育を受け入れることの出来る環境を整備し、保育の内容や方法を検討している。
A-1-(4)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	(a)・b・c	
A-1-(4)-③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a・(b)・c	
A-1-(4)-④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	(a)・b・c	
A-1-(4)-⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	a・(b)・c	
A-1-(4)-⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	(a)・b・c	
A-1-(4)-⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	(a)・b・c	
A-1-(4)-⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	(a)・b・c	
A-1-(4)-⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a・(b)・c	
A-1-(4)-⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a・(b)・c	
A-1-(4)-⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	(a)・b・c	

A-2 子育て支援

評価項目	第三者評価結果	コメント
A-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援		
A-2-(1)-① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	(a) b · c	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の対話や連絡帳による情報交換を行っている。 ・個別相談も実施しているが記録していない。積極的に面談をしていくなど子育て相談機能を発揮することが望まれる。相談記録の基準を作成し、職員でばらつきが生じないことが大切である。 ・保育参観では、保護者の保育参加の形で実施している。欠席の場合の子どものフォローも望まれる。 ・虐待防止マニュアルがあり、職員に周知させている。異常に気づいたときは、写真を撮り、福祉事務所への報告など関係機関との連携を図る体制が出来ている。
A-2-(1)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a · - (c)	
A-2-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	(a) b · c	
A-2-(1)-④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	(a) b · c	
A-2-(1)-⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	(a) - · c	
A-2-(2) 一時保育		
A-2-(2)-① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a (b) · c	<ul style="list-style-type: none"> ・倉吉市としては、小学校区毎に一時保育を引き受ける園を決めているが、園独自としては実施していない。今後は地域の要望を把握し、倉吉市の子育て支援策の観点からも、検討を望む。

A-3 安全・事故防止

評価項目	第三者評価結果	コメント
A-3-(1) 安全・事故防止		
A-3-(1)-① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a (b) · c	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体が作成した衛生管理マニュアルはあるが、調理手順や水周りに関する、より具体的な園独自の取り決め事項を整理し、適切に実施することが望まれる。 ・食中毒対応マニュアルも自治体が作成したものがあり、内容が職員に周知されている。また、月に1～2回調理室などの細菌検査を実施し、平日頃から衛生面に留意し、研修も積極的に参加している。 ・事故「ヒヤリハット」の他園の事例を活用し、未然防止策を職員会議で検討している。しかしチェックリストはない。 ・災害発生対応マニュアルがあり、避難訓練を月一回（火災・地震・台風など）実施し、訓練を積み重ねている。 ・不審者対応マニュアルがあり、それに基づき、研修をしている。
A-3-(1)-② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	(a) b · c	
A-3-(1)-③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a (b) · c	
A-3-(1)-④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	(a) b · c	
A-3-(1)-⑤ 不審者の侵入などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	(a) b · c	

福祉サービス第三者評価結果

※すべての評価項目（55項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示します。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	○a・b・c	「保育所保育指針」に基づき、園独自の理念と基本方針が明文化され、整合性及び具体性がある。また玄関と職員室に掲示され、ホームページにも掲載されている。
Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	○a・b・c	
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	○a・b・c	職員会議で理念や基本方針を伝え、年間目標が検討されている。保護者に対しては総会の中で文書に基づき説明されている。保護者アンケートによると、6割の周知状況であった。
Ⅰ-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a・○b・c	

Ⅰ-2 計画の策定

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅰ-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
Ⅰ-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	○a・c	公立保育園としての倉吉市の中長期計画があるが、園独自の事業計画は単年度である。2～3年先を見据えた保育士の人材育成についての管理者の構想はあった。しかし、園独自の中長期計画を作成してみてもどうか。
Ⅰ-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	○a・c	
Ⅰ-2-(2) 計画が適切に策定されている。		
Ⅰ-2-(2)-① 計画の策定が組織的に行われている。	○a・b・c	園独自の単年度の計画策定や評価見直しはされている。また、職員会議や保護者会で伝えているが充分ではない。
Ⅰ-2-(2)-② 計画が職員や利用者等に周知されている。	a・○b・c	

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

評価項目	第三者評価結果	コメント
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a · b · c	管理者自らの役割と責任について職員へ表明し、職員全員から信頼されている。担当課長を通し、職員補充や労働条件などをはたらきかけている。法令遵守について職員へ伝えているが幅広い研修等の取り組みを期待する。
I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a · b · c	
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a · b · c	職員会議で定期的に日常の保育について意見を出しあい、改善に取り組んでいる。また一日二回（朝と夕）ミーティングで意見交換し、自ら積極的に保育に参画して指導力を発揮している。さらに業務（記録物の整理）の効率化に向けた工夫を望む。
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a · b · c	

評価対象II 組織の運営管理

II-1 経営状況の把握

評価項目	第三者評価結果	コメント
II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
II-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a · b · c	園を取り巻く地域の特徴や環境の変化についてのデータが把握しきれていない。コスト分析や在園児の推移を分析することにより、中長期計画に反映することが必要であろう。倉吉市としては税理士等の専門家を含む監査委員による監査を実施している。その指導が園の運営に反映されることを期待する。
II-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a · b · c	
II-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	a · b · c	

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅱ－２－(1) 人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ－２－(1)－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	○a・b・c	倉吉市の保育行政としての人事管理に対する方針が確立しており、必要な人員体制についてのプランがある。また人事考課の客観的な基準もあるが、人材育成に有効に活用できていない。
Ⅱ－２－(1)－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a・○b・c	
Ⅱ－２－(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ－２－(2)－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	○a・b・c	職員の有給休暇や疾病状況をチェックし、職員の意向を聞くなど改善にむけての努力が伺える。臨時職員も多く、福利厚生に偏りがあり、工夫が望まれる。
Ⅱ－２－(2)－② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a・○b・c	
Ⅱ－２－(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ－２－(3)－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a・○b・c	保育サービスを実施するための、職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されているが、園には十分に浸透していない。行政が求める職員の技術や質についての具体的な策定とあわせ、園独自として職員個々の具体的な研修計画および評価・見直しが必要と思われる。
Ⅱ－２－(3)－② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a・○b・c	
Ⅱ－２－(3)－③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a・b・○c	
Ⅱ－２－(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
Ⅱ－２－(4)－① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a・○b・c	実習生の受け入れは積極的に行っている。また、職員へも意義や方針を明確にしている。一日のスケジュールは作成しているが、計画的に学べるようなプログラムになっていない。マニュアルとして整備されることを望む。
Ⅱ－２－(4)－② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a・b・○c	

II-3 安全管理

評価項目	第三者評価結果	コメント
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
II-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a · b · c	緊急時対応マニュアル・感染症マニュアルが整備されている。また子供の安全を脅かす事例を収集し、職員で検討し、実行している。
II-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a · b · c	

II-4 地域との交流と連携

評価項目	第三者評価結果	コメント
II-4-(1) 地域との連携が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	a · b · c	地域と連携するため、各種協議会や連絡会に出席したり、地域の行事に参加している。また園で行事を計画し、地域の方の多くの参加がある。毎木曜日には園を開放し、未就園児と親子のふれあいの場としている。ボランティアの参加は積極的に受け入れ、定期的には読み聞かせの会として月一回受け入れている。マニュアルの整備が望まれる。
II-4-(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。	a · b · c	
II-4-(1)-③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a · b · c	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	a · b · c	必要な社会資源を明確にし、一覧表にしている。また定期的に地域の連絡会が開催され、意見反映の場がある。
II-4-(2)-② 関係機関等との連携が適切に行われている。	a · b · c	
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	a · b · c	西中校区同和教育研究協議会・明倫校区連絡会で情報を共有し、ニーズを把握している。倉吉市としては、各園の役割分担により、一時保育・家庭支援・病後児保育が計画的に実施されているが、子育てニーズに基づいた病後児保育などは独自でも行われることを望む。
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a · b · c	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ－１－(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ－１－(1)－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解を持つための取り組みを行っている。	○a・b・c	保育の基本方針に基づき指導計画を定期的に見直している。一人ひとりの子供を尊重した保育計画を具体的に明示している。プライバシー保護に関するマニュアルの整備が課題である。
Ⅲ－１－(1)－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a・b・○c	
Ⅲ－１－(2) 利用者満足の上昇に努めている。		
Ⅲ－１－(2)－① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a・○b・c	保護者の意向調査としては行っていないが、日常的には気軽に相談できる関係にあることがアンケートでうかがえた。各年齢に応じたニュースを発行したり、保護者へ情報を提供し、満足度が高い。
Ⅲ－１－(2)－② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	○a・b・c	
Ⅲ－１－(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ－１－(3)－① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	○a・b・c	苦情解決の仕組みが整備され、担当者がわかりやすく掲示してある。また保護者と職員との信頼関係も深まっており、相談しやすい雰囲気がある。公表までにはいたっていないが、意見に対し、迅速に対応している。
Ⅲ－１－(3)－② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a・○b・c	
Ⅲ－１－(3)－③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	○a・b・c	

Ⅲ－２ サービスの質の確保

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ－２－(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
Ⅲ－２－(1)－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a ・ (b) ・ c	リーダーである副園長を中心に日々の指導助言や園内公開保育のなかで、職員一人ひとりの課題解決に取り組んでいる。しかしながら定期的な自己評価がされていない。このたびの第三者評価の受審により課題解決に向けた取り組みのきっかけにしてほしい。
Ⅲ－２－(1)－② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a ・ (b) ・ c	
Ⅲ－２－(1)－③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a ・ (b) ・ c	
Ⅲ－２－(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ－２－(2)－① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a ・ (b) ・ c	保育指針に基づき保育サービスが提供されている。さらに子供の発達に応じた具体的な保育の実施場面をふまえ、標準的にマニュアル化することが必要である。
Ⅲ－２－(2)－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a ・ (b) ・ c	
Ⅲ－２－(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ－２－(3)－① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a ・ (b) ・ c	記録管理の責任者を明確にし、記録・管理している。また必要な情報は共有し、保育を行っている。丁寧ではあるが、重複記録になる実態があり、業務の効率化とあわせ、検討が必要であろう。
Ⅲ－２－(3)－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	(a) ・ b ・ c	
Ⅲ－２－(3)－③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	(a) ・ b ・ c	

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ－３－(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ－３－(1)－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a (b) ・ c	入所希望時に前年度の入園のしおりを配布し、説明している。案内のしおりはないが、公立保育園としての紹介がホームページで確認できる。保育料や特別保育については倉吉市福祉事務所が知らせている。開始にあたっての同意は得ている。
Ⅲ－３－(1)－② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	(a) ・ b ・ c	
Ⅲ－３－(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ－３－(2)－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a ・ (b) ・ c	転園にあたり、引継ぎ文書はなく、保護者を通じて口頭で行われている。保育の継続性に配慮した客観性のある引継ぎが求められる。現在倉吉市としてはフェイスシートを検討中である。

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ－４－(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
Ⅲ－４－(1)－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	(a) ・ b ・ c	子供の身体状況や生活状況を決められた様式（調査票）に沿って記録されている。日々の課題については場面ごとに記録されている。
Ⅲ－４－(1)－② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	(a) ・ b ・ c	
Ⅲ－４－(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ－４－(2)－① サービス実施計画を適切に策定している。	(a) ・ b ・ c	子供一人ひとりの課題を明確にした計画を策定している。また定期的に評価見直しを行い、月に一度は検討会を開催している。
Ⅲ－４－(2)－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	(a) ・ b ・ c	